

令和5年度第3回長久手市指定管理者選定委員会 議事要旨

令和5年9月28日(木)

午後6時～午後9時15分

市役所会議室棟2階 会議室H

- 委員の全員の出席により会議が成立していることの確認・挨拶
- 委員会が非公開であることについての確認
- 選定の流れについて説明(行政課)

●リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の指定管理

指定管理期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年)

(申請者A 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員 実際にプレーヤーと対話し実施したコーディネート的事例を教えてください。また、指定管理者になった場合どのような施設にしたいと考えているのか知りたい。

申請者 夏のイベントを2年実施した。昨年度は運営協議会が主体であったが、今年度は学生が主催するイベントを実施するという事例を作った。また、学習支援をしている学生とその他様々な大学生をつなげ、食を楽しむというテーマでイベントを実施した。

市民はリリモテラス公益施設に行こうという気持ちがないと、施設に足を運ばない。指定管理者となった場合は、子どもの遊び場や、学校に行きたくない学生の居場所というような目的地になる場所としたい。そのために誰でも行きやすい開かれた施設にする必要があると考える。

委員 現在指定管理業務の実績がないと思うが、経験や実績がない部分はどのように補うのか。

申請者 モデルハウスの運営を日常的に行っているが、指定管理業務に通じる部分がある。住宅や建物のプロとして維持管理ができるという点はメリットである。

委員 リリモテラス公益施設と長久手中央2号公園との連携をどのように考えるのか。また長久手中央2号公園のメンテナンスについてはどう考えるか。

申請者 現在、リリモテラス公益施設と長久手中央2号公園はそれぞれでイベントを実施している。しかし自分がコーディネートする際は、両施設連動して

イベントを行うようにしており、現状の段階で連動したイベントができるのは強みであると考えてる。

長久手中央2号公園の維持管理については、植栽やウッドデッキの維持管理は長年経験がある。水系施設は実績がないが、引き継ぎを受け、維持管理したい。

委員 予約システムのオンライン化が提案されている。システム構築費用として30万円を計上しているが、どの程度のオンライン化を検討しているのか。

申請者 お金のやり取りはオンライン化せず、予約のみオンライン化する。導入費として30万円程度、月額利用料を3万円で検討している。

委員 業務委託費に事務所の常駐職員の人件費が含まれているが、職員は何をするのか。また、租税公課の10%について説明してほしい。

申請者 職員は予約の受付や来館者の対応を行う。租税公課は積算上10%としているが、打合せ等で調整していきたい。

委員長 共同事業体と委託は異なるが、どのような認識なのか。

申請者 仕事は共同事業体の代表法人から構成法人に対して業務委託契約をする。共同事業体として、指定管理者の申請時には計画の段階から構成法人に加わってもらった。

委員長 委託者が企画し、それに合う仕様を作り、それを遂行できる受託者を見つけてきて事業を実施させることを業務委託と言うと思う。説明のあったとおり計画段階から構成法人の力を借りているということならば共同事業体になると考えるが、どのように理解されているか。

申請者 内容としては委員長の言うとおり、業務委託という説明は適切ではないかもしれない。ただ会社の会計上、構成団体に支払うことを考えると、業務委託となる。

委員長 普段リニモテラス公益施設や長久手中央2号公園を利用していない、新しい利用者を増やす方法について教えてほしい。

申請者 自分たちを知ってもらう活動に力をいれている。インターネットやSNSを活用する。来た人しか知り得ないことをインターネット上で知ってもらうということが大切だと考える。

(申請者退席・担当課質疑)

委員 申請書は、代表法人の名称で提出するのではなく、共同事業体の名で提出させるべきである。受付段階で補正をさせるべきであった。

委員 現在の指定管理期間が終了すると、リコモテラス公益施設内のカフェ部分の事業者も変更になるのか。

担当課 指定管理の範囲にカフェ部分は含まれていないため、直接的に影響しない。

(採点)

(株式会社トヨタエンタプライズ 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員 実際にコーディネーターとなる予定の人はいるのか。

また、指定管理者となった場合、例えば学生が「やきいも大会がやりたい」と提案してきた場合、どのようにアドバイスするか。

申請者 コーディネーターの予定者はいない。今後選定をする。

学生の提案例については、地元の農家や農に関する取組をしている市民団体と繋がるようにしたい。また他の自治体の指定管理施設で、同じように農業を中心としたイベントしており、経験を生かしたい。

委員 利用している団体と指定管理者が密接に関わっていく予定はあるか。

申請者 予定している。新しいことを始めるためにも、利用団体から教えてもらい、ネットワークを広げたい。施設で活動する人と交流しながら、普段利用している団体とつながっていききたい。

委員 類似施設の事例を好事例として取り上げているが、好事例と言える主な理由は何か。

また、類似施設の貸館稼働率は30%台と申請書に記載されている。貸館稼働率としては低いと思うが、改善策で思いつくところはあるか。

申請者 類似施設は、子育て世帯の利用者が多く、フリースペースで遊べるようにしている。自主事業で来館者が増え、その後、口コミでさらに利用者が増えている。

貸館稼働率については、類似施設は貸部屋が全部で15部屋あり、貸出し時間のコマ数が多い。コマ数が増えれば必然的に稼働率が下がる。他の施設の状況も踏まえると低い数字ではない。

委員 人と人をつなぐ役割に力をいれるべきと考える。普段施設を利用しない人の声はどのように集めるのか。

申請者 リコモテラス公益施設と長久手中央2号公園は、駅前の一等地にあるが、日中は閑散としている。現在リコモテラス公益施設がどのような施設なの

か、市民に認知されていない。施設を認知してもらうため、SNSなどで広報していきたい。待ちの姿勢ではなく、自分たちで声を聞きに行くことが大切だと思っている。

委員 リリモテラス公益施設と長久手中央2号公園の両方を指定管理することは、リリモテラス公益施設を知ってもらうチャンスになると思う。このチャンスの生かし方を教えてほしい。

また施設の職員の情報共有について、情報の温度感を共有することは大変だと思うがどのように共有するのか。

申請者 公園は外からどのようなイベントをしているか見ることができる。長久手中央2号公園で実施するイベントをリリモテラス公益施設にも広げていくことで、リリモテラス公益施設の中で何をしているかわかるようにする。例えば、噴水で子供が遊んでいる姿をよく見かけたので、水をテーマにしたイベントを実施し、着替えや休憩場所をリリモテラス公益施設内に確保することが考えられる。

情報共有の仕組みはしっかりと作っていきたい。受付で、イベントを実施したいという情報を聞いたら、情報を蓄積し、どのような団体がどのようなイベントをしたいか、誰が見てもわかるようにしたい。類似施設では、情報共有のために事例ノートを作成し、些細なことも記入するようにしている。返答を求められている優先順位の高いものは職員がすぐに対応する。

委員 施設管理として、清掃にかかる費用は月に5万円しか計上されていない。外部委託しないため金額が少ないということか。

申請者 日常的な清掃は職員が行い、年間に数回大がかりな清掃を委託する。

委員 施設のプレーヤーはどのように増やしていくのか。

申請者 施設を来館者として利用している人に対して、積極的に声がけし、プレーヤーとなるきっかけづくりをしたい。また、サポーター制度の導入を考えている。活動をやっているもしくはやりたいと思っている人を募り、定期的に交流会を行いマッチングをする仕組みで、自ずと利用者からプレーヤーに引き上げることができると考えている。

委員 統括責任者の人選はこれから行うという話であったが、どういう経歴の人を責任者とするのか。

申請者 係長級の職員で、コミュニケーション能力の高い人を責任者とすることを想定している。

委員長 施設を利用していない人への認知の促進後、活動に参加したい、プレーヤーになってみたいと思う人に対し、後押しが必要だと思う。施設を利用し

ていない人への気持ちを変える方法として考えていることはあるのか。

申請者 現在どのような団体がいて、どのような属性の人が利用しているのか把握していないため、実際に施設を運営してから考えたい。

委員長 施設の利用者だけが優遇される状況にならないか不安である。

申請者 SNSを積極的に活用していきたい。また来館者の口コミも、利用者が広がる要素になるので期待している。来館者に対して丁寧に対応することで良い口コミが広がる。日々の対応が重要だと考える。

(申請者退出・担当課質疑)

委員長 担当課に質問はあるか。

委員 特になし。

(採点)

(申請者 B 入室 抱負・アピール)

(申請者質疑)

委員 前回の指定管理者選定申請時には、共同事業体で申請していた。前回と比較するとコーディネート業務が重点化されるが、今回、共同事業体での申請ではない理由はあるか。

申請者 共同事業体の構成法人の代表者が退任されたこと、また担当者が遠方におり、問題があった際に指定管理施設に駆けつけることができないことから、今回共同事業体では申請を行わなかった。構成法人とは他施設でも連携しており、今後も業務委託で協力する。

委員 館長や副館長がコーディネートして印象に残っている事例を教えてほしい。今後は長久手中央2号公園も指定管理施設となるが、どのようにコーディネートしていきたいと考えているのか。

申請者 来館者から企画を持ち込まれることが多く、企画に対してアドバイスしながらイベントの成功を後押ししている。長久手中央2号公園を一括して管理できるのであれば、イベントの規模も大きくなり、今までとは違った形態の利活用ができると思う。

委員 プレーヤーを発掘して、継続的活動を支援することが要項や仕様に書かれている。これまでの実績でプレーヤーが継続的に活動している例やプレーヤーが広がった例はあるか。

申請者 子どもを対象とした運動教室を実施し、定期的な開催につながった例がある。また、「リリモテラスのおもちゃの日」というイベントを定期的に実施しているが、声かけをすると協力してくれるプレーヤーが多い。

委員 リリモテラス公益施設の利用者からは、館長や副館長はとても話しやすいという声が多く、利用者に寄り添っている印象を感じた。長久手中央2号公園は、イオンモール長久手の公園だと思っている人もいて、長久手中央2号公園に関する苦情もイオンモール長久手に問合せがあることが多い。リリモテラス公益施設と一体で指定管理する場合、どのようなPRを検討しているのか。

申請者 長久手中央2号公園に問合せ先は明示し、意見や苦情には親身に対応したい。リリモテラス公益施設でイベントの相談を受付していることも可能な限り明示したい。

委員 指定管理料が1.5倍に増えるが、増額分はどの部分を充実させるのか。増額分でプレーヤーや施設利用者をどのように増やす計画なのか。

申請者 イベントに係る費用を倍増した。また、長久手中央2号公園の保守のため施設管理の委託費や保守点検費を増額している。利用客の集客を図るため、愛知高速交通に独占広告を掲載するための広告宣伝費も計上している。

委員 利用したくなる施設を目指すため、実際の利用者のアンケートで分析すると思うが、新たな潜在的な利用者の掘り起こしはどのように行うのか。

申請者 来館者の生の声を聞くために「どうするリリモテラス」という企画を行った。イベントをやりたいという声があり、意見の集約から実行に移行している。無記名で意見を収集したため、意見は多く収集できたが、意見を言ってくれた人にアプローチできなかった。来館者の意見や要望の収集は再度行いたい。市民のやりたいことを応援することは施設のコンセプトである。

リリモテラス公益施設の利用者は子育て世帯が多い。親子単位での施設利用が多いが、利用が口コミで広がっていることを実感している。利用者に宣伝してもらったり、SNSで拡散してもらい、新しい利用者につなげたい。

委員 運営上、さらに工夫したいと考えていることはあるか。

申請者 貸部屋の利用料金に差がある。部屋を利用できればいい人は、利用料金が安い貸部屋を選ぶため、利用料金の高い部屋の稼働率は低くなる。稼働率をあげるため、貸部屋での活動例を掲載してPRしている。利用料金は条例で決まっているので、長久手市と相談していきたい。利用料金を安くすることで少しでも貸部屋の稼働率を上げていきたい。

委員長 若い子育て世帯の利用者が多く、SNSから口コミで広がる例があると説明があったが、例えば高齢者で施設を利用したことがない人には、どのよ

うにPRするのか。信頼感を上げ利用者を増やすという説明だったので、待ちの姿勢に感じた。幅広い層に指定管理施設を知ってもらうアイデアがあれば教えてほしい。

申請者 以前イベント実施時に、リリモテラス公益施設周辺の自治会にチラシを回覧した。その際、高齢者がイベント前にリリモテラス公益施設に来館していることがあった。市内の自治会で回覧することで高齢者へのPRに繋がると考える。高齢者が来館しにくい印象があるかもしれないので、立ち寄ってみたいと思う雰囲気づくりに取り組みたい。

(申請者退出・担当課質疑)

委員長 担当課に質問はあるか。

委員 特になし。

(採点)

(申請者 C 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員 収支計画書を見ると、広告宣伝費が多い。具体的にどのようなことを行うのか。

申請者 チラシを作成し、配布する。一般向けのイベントであれば、新聞折り込みする。紙だけではなく、SNSの有料広告、新聞や雑誌の広告掲載も検討している。

委員 類似施設の成功事例を教えてほしい。

申請者 類似事例の施設は、施設規模は小さいが、施設の前にある公園と一体的に事業を行っている。自己実現の場を大切にしている。様々な人のニーズを聞いて、共催イベントの実施につなげている。

委員 他自治体での指定管理の経験や実績を、どのように生かしていくのか。

申請者 指定管理施設で職員をやっている。元々施設は地元の商店街組合が運営していたが、現在は前の運営者との関係も良好で、一緒に事業を行っている。ノウハウを活用し、リリモテラス公益施設に合う形で運営したい。

視察研修として、類似施設の館長の話聞くことを検討している。また館長会を定期的実施しているので、館長同士の交流で運営について参考にしたり、情報共有を進めて行きたい。

委員 リリモテラス公益施設を利用していない人は施設に足を踏み入れない。利用していない人の誘客方法を教えてほしい。

提案に記載されている協議会は、現在ある運営協議会を活用するのか、それとも新しい運営協議会をつくるのか、どちらを検討しているのか。

また、地域を知り尽くすとあるが、長久手市を知り尽くすことを始めているのか、始めているなら実施していることを教えてほしい。

申請者 提案書では団体の人が利用できるような拠点作りを記載している。利用していない人の誘客のため、一番効果があるのは口コミである。施設が入りやすいとか、イベントをしやすいというような声が広がると誘客に繋がる。時間はかかるかもしれないが、長く定着すると思う。

運営協議会については、仕様書上一度解散していると考えているが、運営協議会は大切だと思っている。定期的に生の声を聞いていきたい。今ある運営協議会をなくす考えはない。現在の参加者だけでなく、運営協議会に新しく関わりたいと考えている人も参加できるようなものにしたい。

地域を知り尽くすことについては、市内を周りながら勉強している最中である。今後も、地域を拠点にいろんな人に携わってもらいながら、携わる職員含めて興味を持って行きたい。近隣市での指定管理の実績もあるため、今ある関係も含めて深めていきたい。

委員 指定管理料は3,900万円が上限とのことだが、上限よりも少ない金額で提案している。この減額分でイベントを実施してほしいと考えたりもするが、この金額で提案している理由を教えてほしい。

申請者 上限まで予算を使い切るということではなく、縮減することを考え、再委託部分を整理し提案した。お金があればいいものはできる。しかし、お金だけではなく、利用者が集まることで、いいイベントができると思う。やせ我慢をした収支になっているわけではない。民間企業ならではの創意工夫で、利用料金収入を増やしていくこともできると考える。

委員 イベントの多い類似施設があると思う。コーディネートの事例を教えてください。

申請者 類似施設は、元々地元の人が施設を管理していたこともあり、地元のネットワークを使いながらイベントを実施している。お祭りやマルシェなどが比較的多い地域なので、会場として利用してもらい共催している。B1グランプリなど大きなイベントも行っており、指定管理施設がまちの一部として定着したと考える。指定管理施設は築100年なので、昔の風習を伝えることも実施している。施設だけではなく近くの商店街に波及するように、中

心市街地活性化として実施している。

委員 施設長のスキルは重要になると思う。どのようなスキルを持つ人が施設長に就くべきと考えるか。また、スキルを身につけるための人材育成はどのようなことを行う予定か。

申請者 提案書に記載されている内容を遂行でき、それを膨らませることができる職員が前提である。地元で興味のある人を雇用し、職員になってほしいと考えている。施設にいる職員だけに任せず、会社で大きくバックアップするが、施設が好きな人や設置目的をしっかりと理解できる人がいいと考える。人と人を繋ぐ核となると考えるので、来館者とコミュニケーションをとることができる人を施設長をお願いしたい。

(申請者退出・担当課質疑)

委員長 担当課に質問はあるか。

委員 特になし。

(採点・集計結果の報告・指定管理者候補者の決定)

「株式会社トヨタエンタプライズ」 91.49点／100点。

「申請者 A」 70.15点／100点。

「申請者 B」 85.42点／100点。

「申請者 C」 87.60点／100点。

指定管理者候補者として「株式会社トヨタエンタプライズ」を決定。

(解散)